償却資産申告書の各欄の記載のしかた

1.住所（※）
納税通知書・納付書をお送りするご住所をご記入ください。

2.公簿上の住所又は所在地
登記上のご住所をご記入ください。

3.氏名（※）
氏名又は法人名をご記入ください。

4.公簿上の生年月日又は設立年月日
登記上の設立年月日をご記入ください。

5.個人番号又は法人番号
指定された番号（個人は12桁 法人は13桁）を右づめでご記入ください。

6.事業種目（資本金等の金額）
事業の種目を具体的に記載してください。また、法人にあっては、資本金又は出資金等の金額も記載してください。

7.事業開始年月
個人の場合は事業を開始した年月、法人の場合は当該法人の設立年月を記載してください。

8.この申告に応答する者の係及び氏名
この申告に応答する方の係名、氏名及び電話番号を記載してください。

9.税理士等の氏名
経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記載してください。

※転居・移転や相続・商号変更などにより、印字の内容が実際と異なる場合は訂正記入してください。

申告書等送付番号
摂津市の「納税義務者番号」を記入してください。
わからない場合は、記載不要です。

帳票識別コード	
申告区分	□当初申告 ・ □修正申告
処理方式	□一般処理 ・ □電算処理
申告書等送付番号	

受付印

令和　年　月　日

殿

年度

償却資産申告書（償却資産課税台帳）

所有者 1	フリガナ / 住所（納税通知書送付先） / 電話番号		5	個人番号又は法人番号	
2	フリガナ / 公簿上の住所又は所在地		6	事業種目	
3	フリガナ / 氏名（法人にあってはその名称及び代表者の氏名） / 屋号			資本金又は出資金の額	
4	公簿上の生年月日又は設立年月日	年　月　日	7	事業開始年月	年　月
			8	この申告に応答する者の係及び氏名 / 電話番号	
			9	税理士等の氏名 / 電話番号	

10	短縮耐用年数の承認	□有 ・ □無
11	増加償却の届出	□有 ・ □無
12	非課税該当資産	□有 ・ □無
13	課税標準の特例	□有 ・ □無
14	特別償却又は圧縮記帳	□有 ・ □無
15	税務会計上の償却方法	□定率法 ・ □定額法
16	青色申告	□有 ・ □無

資産の種類	取得価額 前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計((イ)－(ロ)＋(ハ)) (ニ)
1 構築物				
2 機械及び装置				
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品				
7 合計				

資産の種類	※評価額 (ホ)	※決定価格 (ヘ)	※課税標準額 (ト)	数量
1 構築物				
2 機械及び装置				
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品				
7 合計				

※印欄は企業の電算処理による申告をする方のみ記入してください。

17	市(区)町村内における事業所等資産の所在地	① □自己所有家屋 □借家 ② □自己所有家屋 □借家 ③ □自己所有家屋 □借家
18	借用資産	□有 ・ □無
	貸主の名称等	
19	□ 資産に増減なし	
20	□ 該当資産なし	
21	□ 転出・廃業・解散・その他（　　）（令和　年　月　日）	

22 備考(添付書類等)

前年前に取得したもの（イ）
前年前に取得した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記載してください。
この額は、前年度の申告書の（ニ）の欄の額と同じです。

前年中に減少したもの（ロ）
前年中に減少した資産の取得価額の合計額を資産の種類別に記載してください。

前年中に取得したもの（ハ）
前年中に取得したもの（ハ）の合計額を資産の種類別に記載してください。

計（（イ）－（ロ）＋（ハ））＝（ニ）
（（イ）前年前に取得したもの）－
（（ロ）前年中に減少したもの）＋
（（ハ）前年中に取得したもの）
によって算出した取得価額の合計額を資産の種類別に記載してください。

１０.短縮耐用年数の承認
法人税法施行令第５７条第１項又は所得税法施行令第１３０条第１項の規定により、国税局長の承認を受け、耐用年数の短縮を行っている資産の有無について〇で囲んでください。有の場合は、承認通知書の写しを添付してください。

１１.増加償却の届出
法人税法施行令第６０条又は所得税法施行令第１３３条第１項の規定により、税務署長に増加償却の届出を行っている資産の有無について〇で囲んでください。有の場合は、届出書の写しを添付してください。

１２.非課税該当資産
非課税に該当する資産の有無について〇で囲んでください。なお、非課税の資産の価額等はこの申告に含めないでください。

１３.課税標準の特例
課税標準の特例に該当する資産の有無について〇で囲んでください。課税標準の特例に該当する資産については、事務の都合上、別途書類を提出していただく場合があります。

１４.特別償却又は圧縮記帳
租税特別措置法の規定による特別償却及び法人税法又は所得税法の規定による圧縮記帳の有無について〇で囲んでください。（償却資産の評価上、特別償却及び圧縮記帳は認められておりません）

１５.税務会計上の償却方法
税務会計上の償却方法について、〇で囲んでください。

１６.青色申告
法人税法又は所得税法の規定による青色申告の有無について〇で囲んでください。

１７.市内における事業所等の資産の所在地
摂津市内における事業所等資産の所在地を記入してください。複数の事業所等資産の所在地がある場合には、それぞれの所在地名を記載し、その主たる番号を〇で囲んでください。

１８.借用資産
借用資産の有無について〇で囲んでください。なお、借用資産がある場合には貸主の名称等を記載してください。

１９.資産に増減なし
昨年と比べて所有資産の状況に変化が無ければ、チェックを入れてください。

２０.該当資産なし
償却資産に該当するものが無ければ、チェックを入れてください。

２１.転出・廃業・解散など
転出・廃業・解散等があればチェックを入れ、日付を記入してください。